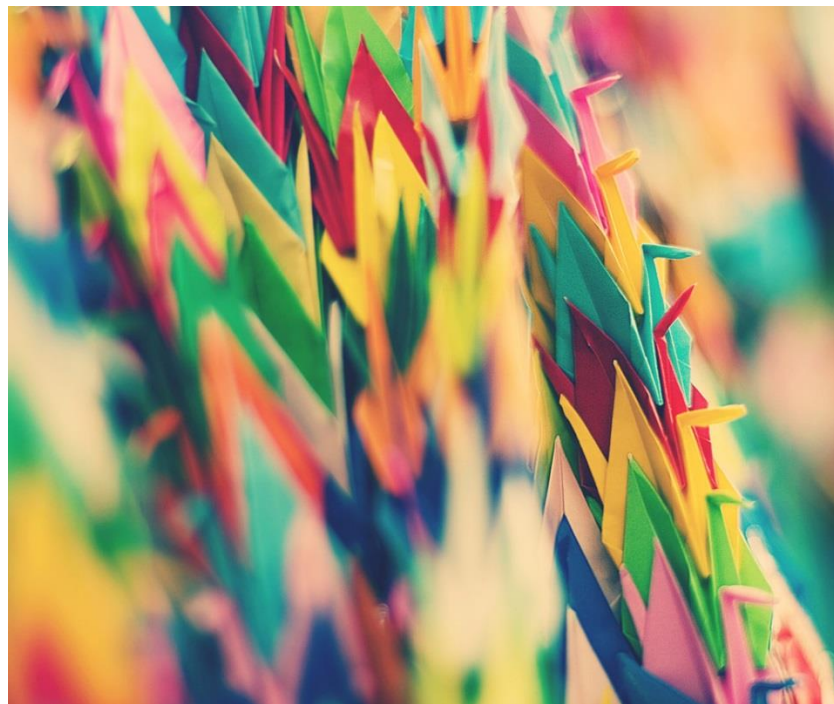


『^{へい}平和^の日^ひ』をかんがえる

6月22日



75年前の

1945年6月22日に、
いったいどんなことが起きたのだろうか？

75年前と言えば…

- 世界中のあちこちで、戦争
- 日本は中国、イギリス、フランス、アメリカと戦争
- 戦争は15年も続く
- 男子は、兵隊に
- 町には、お年寄りと子ども、女性が
- 日本の国内では、食料不足がおき
- アメリカ軍の空襲も続く
- 東京、大阪・名古屋など、空襲で焼け野原
- この戦争で360万人の日本人がなくなる

各務原の学校のグラウンドも いも畑に



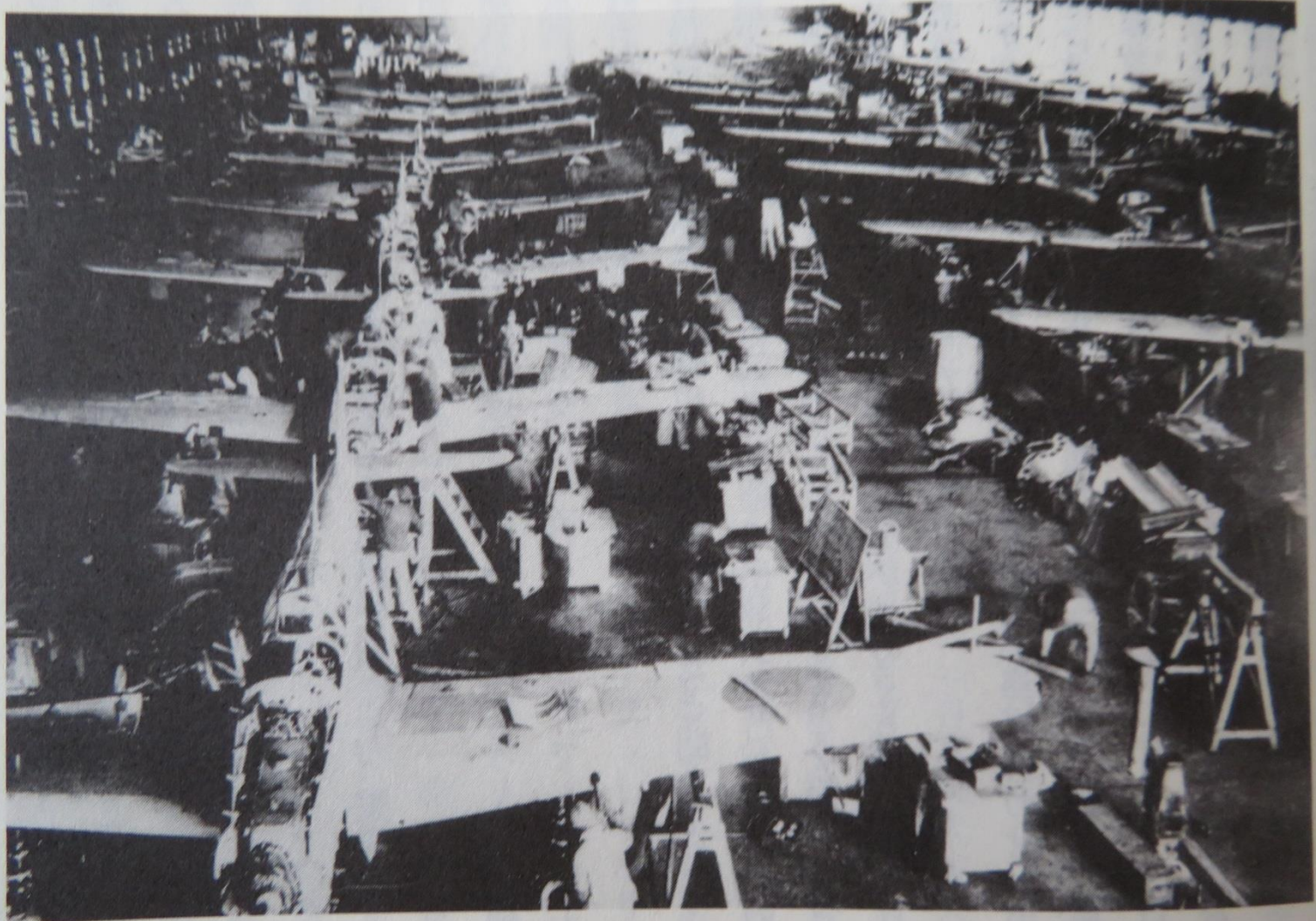
学校の勉強は、食料づくりに



女子も、じゅうのうちかたをならう



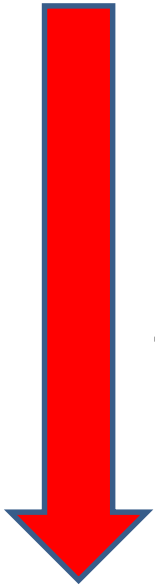
川崎工場で作られる戦闘機



川崎工場で「飛燕」の組立

1945年 6月22日朝9時すぎ

- B29 爆撃機 44機



1トン爆弾
の雨



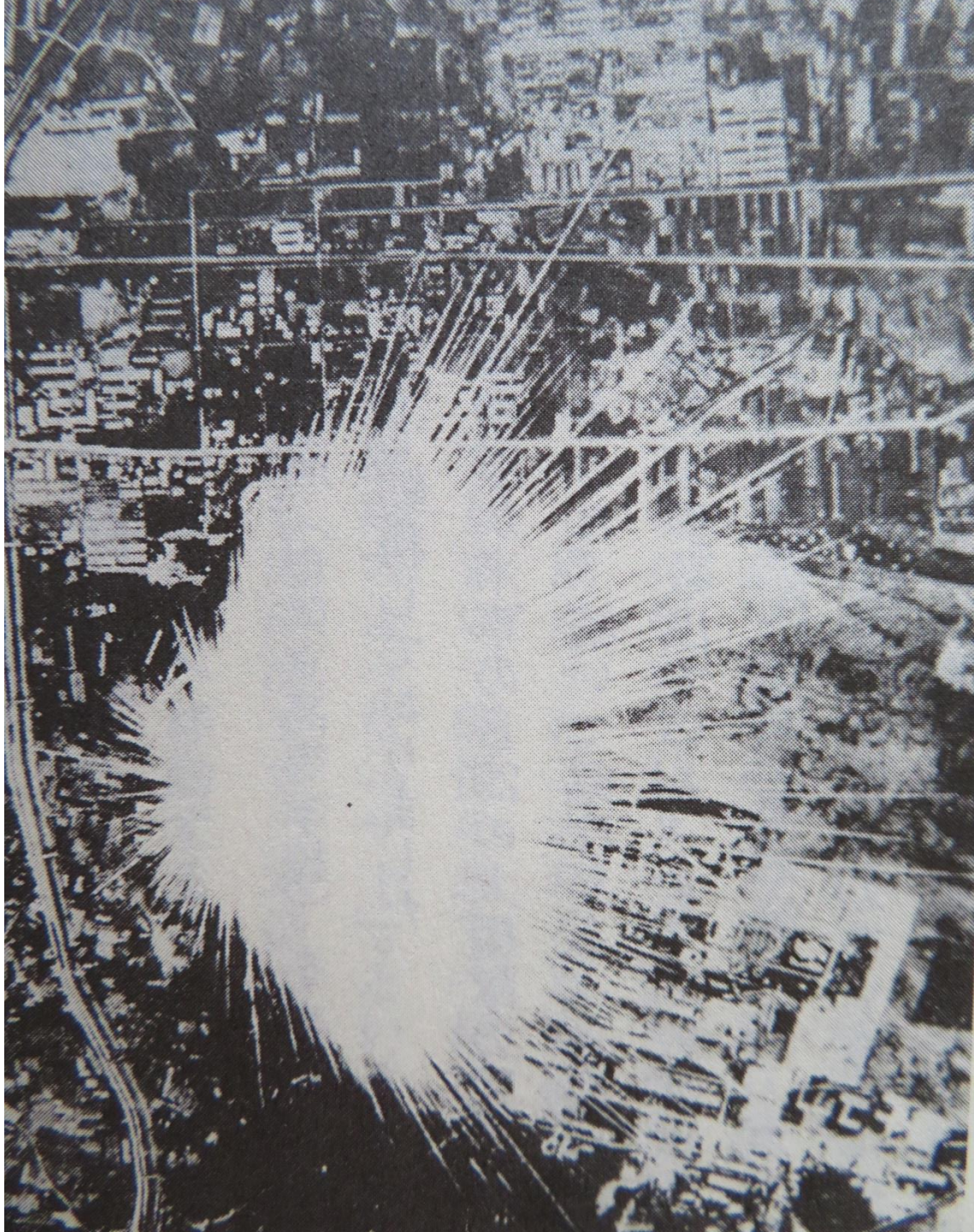
- 那加駅
- 飛行場
- 三柿野・川崎航空機工場などの工場
- 各務ヶ原駅

各務原に
爆弾が落とされる

各務原空襲

死者169名以上

こわれた家 605戸



6月22日のほかにも・・・ 各務原には爆撃や銃撃がつづく

- 7月12日夜11時半～
稲羽地区（三井、小佐野、成清）にも
B29が焼夷弾（しょういだん）を落とす。



そのときの証言

「その夜は雨が降っていました。B29の音が近い と思うとまもなく、おなかにひびくような爆弾の音。あたり一面が焼夷弾の火、火。三井では7軒全焼しました。」

6月22日を『平和の日』に

平成2年3月19日に決定

- 各務原市は、薄れていく戦争の悲惨さ、平和の尊さを伝えていくため、各務原空襲のあった6月22日を「平和の日」と定め、人と人が争い合うことなく、相手を尊重し、ともに豊かに生きていけるよう、「平和」であることをかみしめよう。

あなたに質問します。

①「平和」であるということは、どんなことでしょうか。

②「平和」でみんながいられるようにするためには、あなたはどんなことを考え、そして行動したらよいのでしょうか。